

令和3年4月27日（火曜日）

# 公共投資を国際水準へ

## 足立参院議員 決算委で質疑

自民党の足立敏之参院議員は26日の参院決算委員会で質問し、公共投資の拡大の必要性で財務省などに見解を求めた。写真。足立氏はインフラ整備・投資状況の国際比較を踏まえ、「日本のインフラ整備水準は貧弱と言わざるを得ない」と指摘。中西健治財務副大臣は統計の扱い方などを理由に「貧弱」とは言えないとしたものの、「大災害の多発化などもある。引き続き公共事業予算は厳しい財政事情も踏まえつつ、政策効果を高めるために重点化、効率化を図っていききたい」と答弁した。

足立氏は米国など諸外国でインフラ投資を拡大する方針表明が相次いでいるこ



とに触れた上で、「（公共投資拡大へ）日本も大きく

かじを切り、インフラが一流で豊かな国と思ってもらえるようにしてほしい」と念を押した。

足立氏はインフラ整備を担っている国土交通省で1、2人体制の出張所が増えていることにも言及。赤羽一嘉国交相は大規模災害の頻発化を念頭に「現場の一番大事なところがぎりぎりで行っている」と現状を説明。近年は職員採用を増やしており、「人員を補強して現場体制を整えていききたい」と決意を示した。